

メンテナンスの  
ありがとう

今回は、お客様から頂いた「CSアンケート」・「つぶやきボックス(お客様の声)」の一部を掲載させていただきます。

「いつも土居さんに細目に対応していただきありがとうございます。」

(Y福祉会 事務局長様)

「塗装工事にきていただいた現場の方には丁寧な仕事してもらって満足。寒い中申し訳なくお茶を勧めましたが、工事も終わっているのが大丈夫です。勤勉な感じで好感を持ちました。今後とも宜しくお願い致します。」

(マンションオーナーのF様)

「修繕工事をよくして頂いております。こういう方法ならコストが安いなどの合理的な提案があります。対応の時間も不満ありません。協力業者さんも節度ある方々ばかりと感じております。」

(T社 常務様)

「設計プラン・営業トークについて、今ではとても満足しており、夫婦でバカなことを言って楽しませて頂きました。苦言は言いますが、感謝しております。」

(マンションオーナーのM様)

「全般に於いてアフターも定期的にして頂き感謝しております。」

(D社様)

## 竣工だより

### 八幡屋宝町第3住宅1号館建設工事

設計者：榊真鍋建築設計事務所  
完成日：2011年10月  
構造・規模：RC造・9F・6226㎡



大阪市様から、周辺環境への配慮を徹底され、工期さなかの予期せぬ震災影響で材料調達状況が変化したにもかかわらず、品質を向上されたこと、また現場代理人の対応も協力的で非常に助かりました。」とお褒めの言葉を頂き、小野所長を筆頭に工事に携わった方々も感無量だったという。



### 藤白台B団地 第2期住宅改善事業建設工事

設計者：北野建設㈱一級建築士事務所  
完成日：2011年10月  
施工：北野・森長・志眞 JV



### (仮称)元町マンション新築工事

設計者：自社設計  
完成日：2012年1月  
構造・規模：RC造・5F・586㎡



### 八雲中学校屋内運動場耐震補強工事

設計者：ART建築設計事務所  
完成日：2011年11月  
構造・規模：RC造・3F・1282㎡



### 大阪工業大学大宮学舎総合案内所新築工事

設計者：㈱服部建築事務所  
完成日：2012年1月  
構造・規模：S造・3F・846㎡



### 摂南大学枚方学舎1・2号館外壁改修等工事

設計者：常翔学園財務部施設課  
完成日：2011年11月  
構造・規模：SRC造・8F・11272㎡



### 大阪工業大学大宮学舎コンピニ棟新築工事

設計者：㈱服部建築事務所  
完成日：2011年11月  
構造・規模：S造・1F・254㎡



### 武庫の里ハート「ダンス」ホームときとも新築工事

設計者：中川一級建築士事務所  
完成日：2012年1月  
構造・規模：S造・2F・640㎡

## イベント情報

- 4月2日 入社式
- 4月6日 新入社員歓迎会
- 4月29日 年度経営計画発表会
- 6月中旬 安全大会

## Hello Baby



工事部  
水上主任に第二子  
ご誕生のお知らせ

菜々子ちゃんを  
よろしくね!!

3号

2012年4月

森長工務店の旬の  
情報をお届けします。

# MORINAGA PRESS

## 目次

巻頭メッセージ P.1

初めての「現場代理人」 P.2

ウッドデッキ談話・お客様訪問 P.3

竣工だより・今後のイベントその他 P.4

大切に  
する  
から  
大切  
になる

私が大学山岳部で山登りに熱中していた頃、ピッケルはまだ木製で、山から帰ってくるたびに、次の山行に備えて先輩からもらった疵だらけのピッケルに油を塗りこみ大切に扱ったものでした。まさにピッケルは「アルピニストの刀」でした。それが卒業する頃には、金属製のものが出回り始め、私もけなしのお金をはたいてそれを求めました。すると金属ですから手入れの必要はありません。山から帰っても大した手入れもせず次の機会まで仕舞い込むだけになりました。そうして、いつの間にもやらピッケルは「アルピニストの刀」ではなくなり、只の道具になってしまっていました。

また、数年前から自分で靴を磨こうと決心して、それ以来毎日欠かさず靴を磨いてきました。そうして靴を磨いていると、小さな疵にも気づくようになり、念入りに油を塗って手入れしたり、疵付けないように歩いたりするようになりました。そうして何年もたつてくると、靴に愛着が湧くようになり、「こいつのお蔭で、今日も一日歩けたなあ」と感謝さえするようになりました。

こうしたことから、どうも「大切だから大切に  
するのではなく、大切に  
するから大切に  
なるのではないか」と思うようになりました。今の世の中、モノが溢れた結果、モノを大切に  
する必要がなくなっています。だから、却って私  
たちは大切なモノを喪ってしまったのではない  
か。そう感じるようになりました。

それがモノに対してだけではなく人に対する  
姿勢にも影響を与えているように思えます。  
モノをただ自分が快適に暮らすための道具だと

思うのと同様に、人もまた自分のための道具だ  
という風潮が広がってはいないでしょうか。

今自分の周りにいる人を大切にできなければ、大切にできる人は現れません。今自分が属している集団を大切にできなければ、私たちは大切にできる集団に属することは有り得ません。さらには、今自分に課せられた仕事を大切にできなければ、大切にできる仕事に出会うことはないでしょう。このように考えてくると、今の自分の周囲のものを大切にすることは、誰のためでもない、自分のためだということが分かってくるように思います。

私たちのために誰かが大切なものを用意してくれるわけではありません。自分で大切なものを創っていくしかないので。私も少しでも人生を豊かにするために、これからも周囲を大切に  
する努力を重ねていきたいと思ひます。



代表取締役 森長 敬

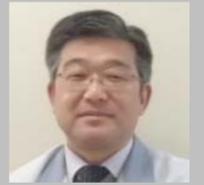
MORINAGA PRESS 創刊号 2012年4月

## 編集後記

Morinaga Press 第3号編集にあたり、ご協力ならびにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。さて、今回のインタビューでは若手社員の方にご登壇いただきました。掲載されているものは3分の1くらいになっており、複雑なエピソードなど多数ありましたが、ここでは割愛しております。また、「ウッドデッキ談話」は完成後の現地での取材時、担当の出水所長も同席されていました。熱く語る森様の傍らで、出水所長も負けじと、思ひ出話を熱く語られていました。そんな場面の横では、すでに学生さんたちがコンビニでパンを食べながら談笑されたり本を読んだりと有意義に利用しておられるようでしたが、内心、「パンや飲み物などをできるだけこぼさない様にしてね」との思いに駆られました。(編集担当)

株式会社 森長工務店  
〒535-0003  
大阪市旭区中宮 1-1-11  
tel 06-6952-3331  
fax 06-6953-5631  
www.morinaga-net.co.jp

## お客様訪問



株式会社 エスラインゴ  
総務部長 青木浩一様

弊社は、岐阜県の貨物自動車運送業であり東海地区を中心に、北は北海道、南は九州と日本全国の物流を担っており、森長さんとのお付き合いは、某ゼネコンを介して関西地区の遊休地の活用提案により始まりました。岐阜を本社に置く弊社として、(失礼ですが)「大阪の森長工務店?どんな建築屋」というイメージでしたが、HP等で拝見させて頂

いたところ、堅実経営でCS活動も積極的に、関西でトップクラスの健全な会社であり、また、特養の経営もされており社会貢献もされている会社であると認識させて頂きました。その結果として、平成十七年神戸市にて有料老人ホーム・平成十九年大阪生野区にて病院の誘致及び建設に到りました。

その後のアフターメンテナンスに關しても、借主様からの要望に対して、遠隔地でスピーディーな対応が困難なケースでも、森長さんがスピーディーな対応をして頂いており感謝しております。現在も、大阪市内での遊休地の活用提案を受けており、検討しております。今後共、お互いにWIN・WINのお付き合いができることを望んでおります。



大工大コンビニ棟は、不規則な流線形のデザインが決め手になっておりその柔らかい印象をウッドデッキが一層引き立たせているが、施工にあたっての格闘や木のことについて中川木材産業サブマネージャーの森氏が熱く語った。



会社名 中川木材産業株式会社  
取締役社長 中川勝弘  
創 業 明治44年2月11日  
設 立 昭和35年9月27日  
資本金 2640万円  
所在地 堺市美原区木材通1-11-13  
TEL 072-361-5501  
FAX 072-362-3341  
http://www.wood.co.jp

## 森さんが熱く語った

### ウッドデッキ談話

(森氏) いやー、今になって思いますがよくこの工事ができたなあと思っています。木で曲線に合わせていくのは一番難しいことなんです。とにかく必死でしたね。

今回、ウッドデッキはかなりの量に見えますね。

(森氏) ざっと500立米(立方メートル)になるんじゃないでしょうか。コストの課題や台風の影響もあり関西圏よりも九州方面から木材を調達するべく判断しまして、採用いただきました。仕上材には杉、下地材には桧でいずれも純国産材です。

仕上と下地の材種の違いの意味は?

(森氏) 下地材は耐久性を考慮して、桧が好ましいので。私たちは木材で何かを造るにあたっては将来性を考え最もメンテナンスのことを考えます。下地はとくに腐食しやすいのでなるべく耐久性の高い材種でないとせっかくイニシャルコストをおさえても

難しいんですね。それにしても建物や周囲との調和が良いですね。

(森氏) 木は人に与えるストレスが一番少ない素材といえるのではないのでしょうか。

いつも、設計士さんやゼネコンさんにはできるだけ多く木材を使っていただきたいと思っています。もちろん、その他の素材と木材が適度にあってバランスが良ければ出来上がった建物は美しいですね。



## 注目記事

### ISO 14001を取得!!

2012年1月25日に、環境マネジメントシステム(ISO14001:2004)を取得致しました。「当社は、建築工事における環境パフォーマンスの向上を目指して、環境マネジメントシステムを構築し、見直し、継続的改善に努めます。」  
「省エネルギー省資源を目指して、創意工夫に取組み、環境汚染及びCO2の削減など環境負荷の

低減に努めます。」  
「当社の事業活動に關する法規制はもとより、当社が同意した利害関係者との約束を順守します。」  
「環境に關する目的、目標及び実施計画を設定し実行し、環境汚染の予防に努めます。」  
以上の「環境方針」を基本に、環境に關する意識を高め、環境にやさしい活動を積極的に行い、環境マネジメントシステムを維持、継続をいって行きましょう。



## インタビュー

# 初めての現場代理人

## 菊池 豪

—その後も現場を進めて行く間、特に心がけていたことは?

(菊池) そうですね、やはりお客さんとよくコミュニケーションを取っていきましょうというのを一番心掛けていました。過去にも民間の物件で、そういう面で色々苦労した現場もありましたので、そのあたりが一番仕事を進めていく上で、重要視されることだと思ひ、特に注意して仕事を進めて行きました。

## 岡野 誠司



—今回は「初めての現場代理人」というテーマですが、「任される」ということを最初に聞かされた時は、どのように感じましたか?

(菊池) そのときは、別の現場で最終の仕上げ段階でもあり、そちらの方で頭がいっぱいになってる時だったので、実はピンと来なかったというところがありました。

(岡野) 私もあわただしい状況での着任で、正直なところ慣れるまで時間がかかるだろうなという不安な思いがありました。

—それぞれの状況があったようですが、ひとまず着任されました。着任の当日最初の日はどんな心持だったのでしょうか?

(菊池) まずは、お客さんにお会いする瞬間のことを考えました。まず第一印象を損や損ないといけないなと心がけていました。

(岡野) 私は、工期が非常にタイトであることが解っていましたので、年末までが勝負だなという思いでいっぱいでした。

## お引渡しの日が嬉しかった

—また、現場で気づいたこととか、何か気になったことについてというのは随時電話なりで担当者の方に連絡をし、密に連絡を取り合うよう心掛けていましたか?

—岡野さんはいかがですか?

(岡野) 私が担当した現場も施主さんは大企業で多くの方が関わりを持たれていました。出来る限り私が中心になってパイプ役になって、聞いてないとか、言っていないとかのないようにならず記録を取りながら、確認しながら現場を進めていくように心掛けていました。

—お二方ともコミュニケーションについて非常に注意をされていたことがよくわかりました。今回、これは忘れられないだろうなというようなできごとはありませんか?

(菊池) そうですね、できごとではないんですが、しいていえば朝が早く起きられるようになったというのが自分自身でもこれまでになく、ビックリしました。

—確かご自宅は川西でしたね。現場は枚方の東の方で、通勤は電車だったとかがっていますか?

(菊池) そうです。特にローカル線なんて便数が少ないんです。始発に乗らざるを得ませんでした。

—始発ですか!

(菊池) 4時半に起床して、5時に家を出ていました。帰りは、極力業務を早めに片付けられるようにして、大体7時台の電車に乗るように心掛けてはいました。

—岡野さんの忘れられないことは?

## 先輩の声が嬉しかった

—最後に、先輩諸君へひとことお願いします。

(菊池) やらされてるっていう感じではなく、自分から仕事をしにいくという姿勢で仕事をすれば成長もしますし、それが自分の力になっていくと思います。

(岡野) 辛いことも色々あるかと思ひますけども、あきらめず乗り越えた時にひとつ成長できるんじゃないかなと思ひますので、逃げずに仕事に取り組んでほしいなと思ひます。